



平成28年2月12日

各 位

会 社 名 CYBERDYNE株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 山海 嘉之
(コード番号 7779 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役コーポレート 宇賀 伸二
部 門 責 任 者
(電話 029-869-9981)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向をふまえ、平成27年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 平成28年3月期連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,000	百万円 -	百万円 △600	百万円 △600	円 銭 △2.95
今回発表予想(B)	1,200	-	△750	△750	△3.69
増減額(B-A)	200	-	△150	△150	-
増減率(%)	20.0%	-	△25.0%	△25.0%	-
ご参考:前期実績(平成27年3月期)	631	△1,766	△907	△915	△4.74

(注) 当社は、平成26年8月1日付で普通株式及びB種類株式1株につきそれぞれ5株の割合で株式分割を、平成27年8月1日付で普通株式及びB種類株式1株につきそれぞれ2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益は、前連結会計年度の期首にこれらの株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

(注) 当社の研究開発活動においては、行政機関等よりその費用分に見合う助成金等を受給して研究開発を行うことがあり、この場合は、研究開発費(販売管理費)と助成金等の収入(営業外収益)が連動して計上されることとなります。このため、営業損益の予想値については、かかる研究開発の有無によって営業損益が大きく変動するため、誤解を与えるリスクを考慮し開示しておりません。

2. 修正の理由

日本においては、少子高齢化による労働人口の減少を背景に深刻な人手不足が発生しており、労務環境改善による労働力確保を目的とした物流倉庫業や建設業や工場労働向けのHAL*作業支援用(腰タイプ)や介護施設向けのHAL*介護支援用(腰タイプ)の引き合いや導入の台数が当初予想より強かったため、売上高が当初見込みを大幅に上回る見通しとなりました。

一方で、当社の研究開発活動は、新製品開発及び各種許認可のスピードアップを優先しており、自己資金による研究開発を進めた結果、助成金収入が当初の見込みを下回る見通しとなりました。

これらの状況を踏まえ、業績予想を精査した結果、連結売上高が当初の見込みを上回る見通しとなり、助成金収入の変動により営業外収益が減少し、その結果、経常損失および親会社株主に帰属する当期純損失が当初の見込みを上回る見通しとなったため、業績予想値を修正いたします。

尚、平成27年11月25日にHAL*医療用(下肢タイプ)の医療機器としての製造販売承認を取得しておりますが、現在、HAL*医療用(下肢タイプ)は、平成28年4月の保険収載に向けて厚生労働省及び中医協総会での保険償還価格の検討が進行している段階であり、今回の業績予想修正においても業績への影響は織り込んでおりません。また、平成28年1月20日に可決成立した平成27年度厚生労働省補正予算における「介護ロボット等導入支援特別

事業（総額52億円）」の対象機器として、HAL®介護支援用（腰タイプ）が該当し、来期は出荷台数の大幅な増加が見込まれますが、今回の業績予想修正において業績への影響は織り込んでおりません。

（注）上記の予想は、本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後の決算において発生する様々な要因により、予想数値とは異なる場合があります。

以 上